



国債市場で長期金利の指標である新発10年債の利回りが一時的に2.015%を付けたことを示すモニター＝2025年12月19日、東京都中央区

04 特集

「新春座談会一丙午の経済」 ハイテク覇権 ゲームチェンジの予感 覚悟決め 思い切った投資を

12 舟越美夏×リアルワールド

「明けない夜はない」と言えなかった

03 風向計

午尻下がり

09 政治双眼鏡

政権の死命を決する解散時機
懸念される「危なっかしさ」

10 本郷和人 歴史の舞台をゆく

第65回
名水地の秦野と沼田との縁

13 口福の源 野々村真希

ロッカーで売り切る
取り組み

14 グリーン＆ブルー 赤堀楠雄

「お菜」を漬けて冬に備える

15 よんなエコノミー 森下晶美

日本人国内旅行の再考
一旅行市場とライブ市場の明暗―

16 きさらぎ会講演

奥原正明・元農林水産事務次官
輸出できる競争力ある産業へ
日本農業、プロ農家を軸に

18 くらし2026

働く障害者紹介、笑顔の
最終号 雑誌「コトノネ」
14年の歴史に幕

20 平井理央のNEWS著休め

スポーツマンシップの光

21 本の森 加藤木綿美

赤ちゃんに見る人間の本質
「満を持して」聖典に挑む

22 音楽の森 柴田克彦

「満を持して」聖典に挑む

23 今週・来週の動き

表紙イラスト「かがみもち」 yumeko(ゆめこ)

2003年生まれ。東京都出身。日本大学藝術学部デザイン学科4年。
上月財団による第21回(24年度)「クリエイター育成事業」認定者。
日本のお正月といえば鏡餅。伝統的であたたかな色調を意識した。
<https://x.com/devilxkid>



本誌へのご意見、ご感想がございましたら、
編集長の荒木正人までお寄せください。

✉ araki.masato@kyodonews.jp
☎ 03(6252)6046

2026年の株価はどうなるか。それを聞かれると、私は苦しくなる。

25年1月13日号に「日経平均株価(225種)は4万5000円に向かって上昇していく」と書いた。インフレだから企業業績は良いだろう。よって株価は上がる。それだけの根拠だった。書いた時点で4万円前後だった株価が予想の水準に達したのは9月。むしろ外れを覚悟して減多なことは書くべきではないと反省する期間が長かったのだ。

株価は4月に3万1000円余りまで下落した。トランプ米政権が打ち出した関税政策が金融市場に激震を走らせた。「うちは株価予想をまったく下方修正しましたよ」。私が予想で頼りにした証券会社にそう聞かされた時は、はしごを外された気分だった。



風向計

午尻下がり

「リード」と呼ばれる市場の活況をもたらした。もちろんいずれも見えていない展開だった。金融機関各社の新年の予想を見ると、5万円台半ばが目立つ一方で、「6万円に迫る」という強気の見方もある。

生の声を聞こうと先日、某大手証券会社の役員懇親会に出席

も話していた。

それを踏まえた上で素人の私に気になるのは、日銀の金融政策だ。利上げは景気を抑制し、株価下落の材料となるからだ。日銀は24年3月にマイナス金利解除を決め、その年の7月、25年1月、12月に利上げをしてきた。25年の決定に間が空いたの

は、当時の石破茂政権に退陣論が常につきまといっていたことと無関係ではないだろう。

政界で解散風が吹く間、日銀は利上げに二の足を踏むとみる。衆院解散が26年前半とすれば、利上げは夏場と年末の2回か。解散が年後半であれば、利上げは年末までに1回か。株高は選挙後も一定期間続き、その後は調整局面となる展開かもしれない。

新年は午年だ。「午尻下がり」という相場格言がある。株価ピークを迎え、その後下がり始めるという意味だ。24年、25年の干支はそれぞれ辰と巳。格言では「辰巳天井」と言われ、株価が高値を形成する。次の午の年に下がるなら、現実にはうまく当てはまりそうだが。

ただ、私の占いはどうか信じないでほしい。

(共同通信社経済部長 加藤裕)

希望と活力がみなぎるとされる「丙午」の2026年が幕を開けた。トランプ米大統領に振り回され続けただけに、新年は各国・地域の指導者の新たな秩序を築く力量が試される。日本経済の前途にはどんな試験が待ち受けるのか。専門家3人に語り合ってもらった。(編集制作部)

市場は正常に反応

— 今年11月に米国の中間選挙が控えています。まずは国内外で注目しているテーマを挙げ



トランプ米大統領と会談する高市首相=東京・元赤坂の迎賓館

「新春座談会—丙午の経済」

ハイテク覇権 ゲームチェンジの予感 覚悟決め 思い切った投資を

てもらいましょう。

A (大手メーカー幹部) 秋の中間選挙に向けてトランプ氏は米国内での人気や支持率を「層気」にかけ、内政や外交に反映させてくるだろう。高市早苗首相は米国の産業再生への貢献を強く求められるのではないかと。

B (金融アナリスト) 4月のトランプ氏訪中が大きな節目になりますね。米中貿易紛争を再燃させないための協力策が話し合われるでしょう。米中はライバル関係にありますが、トランプ氏は中国の習近平国家主席と当面对立したくない。G2 (米中2極体制) の時代が到来するかどうかを占う会談になります。

C (経済官庁審議官) ハイテク産業でゲームチェンジが起きるかもしれない。焦点は人工知能(AI)と半導体だ。エヌビディア、オープンAIへの注目度が高かったが、グーグルが突き抜けた存在になる予感がする。米

ハイテク産業と日本の政府・企業は目標とする時間軸や事業規模が大きく隔たっているのが心配だ。
— 丙午の勢いは感じられますか。
C 今さら千支でもないだろう。首相は就任前から自分なりに政策を練っていたが、ブレインの幅が狭く、アドバイスの質にも疑問がある。今になって戸惑っていることもあるのではな



米カリフォルニア州のグーグル本社

い。

B 意味深長な発言が早速出ましたね。首相になる前と後では、入ってくる情報量が圧倒的に違います。昨年12月に長期金利がずいぶん上昇しましたね。あれは25年度の大規模補正予算がきっかけでした。26年度政府予算案も膨張する見通しが広がっていたから、長期金利が上昇するのは当然です。

A むしろ債券市場が正常に機能していることが確認できた。高市政権が基礎的財政収支(プライマリバランス)の単年度黒字化という目標に背を向けているのは明らかだ。長期金利が上昇しない方がおかしいよ。

けた外れの投資規模

— 積極財政には反対ですか。

A そんなことはない。成長への投資は必要だし、米国も欧州も公的資金を経済安全保障やハイテク産業のために投じようとしている。日本も官民一体の投

資が必要だ。

B 試金石は先端半導体を生産するラビダスでしょう。民間企業がようやく出資に動き出したようですね。

— Aさんの会社も株主リストに入っています。ようやく本腰を入れるのですか。

A 嫌みな言い方はよせよ。ラビダスは最先端半導体の生産準備に入っている。今が大事な時期だし、国内ユーザーから受注をしっかりと確保するのはこれからだ。民間企業の支援が必要な局面を迎えたということだ。

C 北海道電力の泊原発(北海道泊村)3号機もようやく再稼働にめどが立ったから、電力も確保できそうだ。

B ラビダスは経済産業省にとって絶対失敗できない投資ですね。

C そうだろうね。最先端半導体の需要を疑う投資家はいない。だが2ナノメートルの量産技術が本当に確立できるかどうかが問われている。ラビダスはいよ



ラビダスの工場(手前)=北海道千歳市

いよ勝負どころを迎える。
— AI、半導体が世界経済の成長を引き続きけん引するのでしょ

A この分野で主導権を握るのは、言うまでもなく米国勢だ。アマゾン、グーグル、マイクロソフトなどは政府がビジネスに直接介入してくることは好まない。だがAI開発に必要な電力や重要資源の確保は政府主導でなければ難しい。

B トランプ氏ともつかず離れずですが、政府への要望はがちり示しています。選挙資金も共和、民主両党に提供する企業が増えました。

C 日本企業と最も差があるのは将来への投資だ。米国のハイテク企業は、今上げている収益を量子コンピューターなどの先端技術や量産化に投資しなければ、生き残れないという危機感が猛烈に強い。内部留保なんてあまり考えていない。

B ビッグテックは投資規模も100兆円を超え、けた外れだ。日本勢が太刀打ちできるスケールではありません。

A 政府は「世界で最もAIを開発しやすい国を目指す」と訴えているが、よもやグーグルやアマゾンに追いつけるとは考えていないだろう。世界標準は米国から生まれる。それを使って自分たちの事業をどう改革するかに集中すべきだよ。

B サービス業でも生産性を高



USスチールを買収し記者会見する日本製鉄の橋本英二会長＝東京都千代田区

め、人手不足に立ち向かう。自分たちが得意なものづくりにAIを生かす。そういう道を探るべきでしょう。いつまでも現預金を積み上げる企業経営者はビッグテックの投資姿勢を見習わないといけません。

自信喪失に陥るな

A USスチール買収に成功した日本製鉄が昨年12月に新たな経営計画を発表したね。

B 米国やインドを中心に5年

間で6兆円を投資します。

C 5年間で全体で見ると、フリーキャッシュフロー（純現金収支）はマイナスだから、相当思い切った投資だ。いずれ資金調達を迫られるが、めどは立っているのだろう。

B 米政府を相手に訴訟までした橋本英二会長らしい決断ですね。「成長しない企業は腐っていく」というのが持論だから。何が何でも成長を実現し、世界で存在感を高める決意を感じます。あと3年は会社や財界で頑張るつもりでしょう。

C 今年はGDP（国内総生産）がインドに抜かれ世界5位になりそう。ドル換算での比較だから円安による影響が大きい。日本企業の強みがなくなったわけではないし、成長の余地はまだある。自信喪失に陥らず、覚悟を決めて投資することを経営者に求めたい。

—高市政権の経済運営をどう評価しますか。



経団連の簡井義信会長

すか。

B 中国は不良債権になった不動産の処理がまだ大量に残っています。経済全体の浮揚はまだ先でしょう。ただ基礎科学や電気自動車（EV）、半導体の開発は衰えていない。日本との差はさらに開くでしょう。

C 中国との関係が急に改善するとは思えない。経済的威圧への対抗策が必要だ。中国の産業界の急所を押さえるような技術や製品は日本にもあるよ。

A 重要鉱物資源への投資は長期的に続けてもらいたい。いつまでも中国依存ではいけない。中国の資源開発は先進国と条件が違いすぎる。中国にも日米欧と同等の環境規制を求めなければ不公平だ。

Aの2強が激突

—米国の経済情勢をどう見ますか。

A 米金融政策は気になるね。

C 首相はアベノミクスの継承を主張してきたが、10年余り前から今では、経済情勢が大きく変

A 経済財政諮問会議や日本成長戦略会議はどうか。民間からはリフレ派が目立つが、簡井義信経団連会長も入っている。

B 簡井氏への期待は大きいですね。日本生命保険の会長を務め、金融市場には精通している。国債取引の中心である10年物だけではなく20年物、30年物国債にも普段から注意を向けています。

B 財務省は海外の有力格付け会社の動向を心配しています。格付けアナリストにいるいる説明しているようですが、そんなに納得してもらえないわけではない。

自動車損害賠償責任保険（自賠責保険）の特別会計からの「隠れ借金」5700億円を、一般会計に返済したのが典型です。

C 約30年間で借りつ放しだったし、特別会計の運用益などを使っていた事故被害者の救済事業に支障が出ていたからね。自動車総連が支持母体の国民民主にとっては大きな得点になったはずだ。「年収の壁」でも国民民主の主張をのんだ。

A 財政規律の問題は政権内でくすぶり続けるだろうね。6月の骨太方針までに新たな指針を示せるかどうか。前年度より国債発行を減額したり、政府の借金とGDPの比率を引き下げたりする案が有力だが、それでは市場は納得するのかな。

B 財務省は海外の有力格付け会社の動向を心配しています。格付けアナリストにいるいる説明しているようですが、そんなに納得してもらえないわけではない。

経団連会長も関西人

—官邸と各省庁の関係は。

C 首相を取り巻いているのはリフレ派や積極財政派ばかり。財務省幹部は遠ざけられている。首相の財務官僚への不信任感は強いね。台湾有事を巡る衆院予算委員会での発言で日中関係が悪化し、外務省も苦しんでいる。

B 簡井氏への期待は大きいですね。日本生命保険の会長を務め、金融市場には精通している。国債取引の中心である10年物だけではなく20年物、30年物国債にも普段から注意を向けています。

C 首相はアベノミクスの継承を主張してきたが、10年余り前から今では、経済情勢が大きく変

GDPランキング予測

| | 2022年 | 23年 | 50年 | 75年 |
|---|-------|-----|--------|--------|
| 1 | 米国 | 米国 | 中国 | 中国 |
| 2 | 中国 | 中国 | 米国 | インド |
| 3 | 日本 | ドイツ | インド | 米国 |
| 4 | ドイツ | 日本 | インドネシア | インドネシア |
| 5 | インド | インド | ドイツ | ナイジェリア |
| 6 | 英国 | 英国 | 日本 | パキスタン |

米ゴールドマン・サックスの資料による。22.23年は実績

12位 日本

政権の死命を決する解散時機

懸念される、危なっかしさ

大型補正予算を成立させるなど順風満帆に見える高市早苗首相に対し、政権運営の危なっかしさを懸念する声が永田町、霞が関で聞かれる。台湾有事に関する不用意な発言、日本維新の会を除名された衆議院議員の自民党会派取り込み、衆議院議員定数削減をめぐるドタバタなどは危ない橋の一端。こうした事案の遠因は、首相の政治スタイルに加えて、政府・官邸・与党の連携・統制が取れていないのが背景と与党幹部は警告しており、問題の根は深い。足元の厄介の種を摘出して世論の高支持を基盤強化に変換できるか否か、首相の政権担当能力が問われる。

自らの言葉で語ろうとする高市首相の流儀は、自らの決断力を際立たせる一方で、台湾有事発言のように、つまずきの石にならねない。立憲民主党の野田佳彦代表に「独断専行ではないか」と問われ、首相は「政府見解を繰り返すだけでは予算委員会を止めてしまう可能性がある」と踏み込んだ理由を説明した。重大な国策を国会対策に絡めるのはトップとしてあまりに軽率。その結末は先行きの見えない日中関係の緊張激化だ。

政治双眼鏡

発言しているのだろうか。この疑問は首相にこそ向けられるべきだが未だに明快な説明はない。その後の一連の政権対応をみると対中戦略の不在すら疑いたくなる。外務官僚は、首相の理解力が高いと評価する。半面、自らの信条にこだわるあまり政策全般の整合性への目配りに難がある。最大のシンクタンクである官僚も使いこなしておらず、政権全体の衆知を結集しているとは思えない。

維新除名議員の自民党入りにも官邸・与党の近視眼的な戦術志向が読み取れる。3議員を引き込んだのは首相の兄貴分、古屋圭司選対委員長。の独断だったといわれる。維新側は、連立相手のために土壇場まで蚊帳の外に置かれたことに不快感を隠さない。

自民党は維新のほかに国民民主党との連携、さらには公明党との復縁まで画策している。この無節操さに衆院定数削減の迷走が重なり、自衛隊に影を落とされている。そもそも定数削減の迷走は、首相が安易に維新側の無理筋の要求をのんだことに発する。自民党議員が首相に恨み節を漏らすのもうなずける。

意欲余って体が追い付かない高市政権は、理念先行の未熟さゆえに退陣に追い込まれた第1次の安倍晋三政権を思い出させる。安倍氏は第1次の失敗を教訓に第2次以降はリアリズムに徹して長期政権を築いた。しかし高市首相には後がないし、第一、選歴を過ぎての変身は誰であつてもない。

安倍氏は「選挙勝利」課題実現のサイクルで権勢を維持した。首相が安倍氏に倣うなら残された切り札は衆院選勝利しかない。人気は移ろいやすく潮目がいづ変わるのか予断を許さない。解散時機の判断が政権の死命を決するだろう。

(赤顔子)



大阪・関西万博にビデオメッセージを寄せたエヌビディアのジェンソン・フアンCEO(画面)

米連邦準備制度理事会(FRB)は昨年12月に0・25%の利下げに踏み切ったが、反対が3人いた。トランプ氏側近の理事は0・5%利下げを求めたが、2人は金利据え置きを主張した。

B 雇用悪化の兆しが見える半面、インフレ再燃の可能性も否定できない。方向感を出しにくい局面です。トランプ氏からの利下げ圧力がなければ、金利据え置きが多数だったかもしれない。

性能がある。クリスマス商戦の結果を知りたいね。

B 高関税の影響は今年、さらに広がるでしょう。物価上昇という形で米国の消費者に打撃を与えていると思います。

C 中間選挙が秋にあるから、トランプ氏も放置できないはず。大型減税や財政出動を公約するのではないかと。実行されるのは27年以降だが、米国経済の基調はますます見えにくくなるね。

A トランプ関税の影響が消費財に表れてきたという報道もある。玩具、衣料品などの価格が上昇し、消費が減速している可能性がある。

A 市場の動きはどうですか。日銀の利上げで円安をどこまで正できるかな。利上げ幅も小さいから、当面は1ドル1150円台ではないか。

B 株価は米国市場次第ですね。エヌビディアが優位にあるAI半導体ですが、グーグルがいよいよ新たな製品を投入し始めた。ゲームチェンジが起きるかもしれない。

C ソフトバンクグループの孫正義会長兼社長はオープンAI



ソフトバンクグループの孫正義会長兼社長(左)とオープンAIのサム・アルトマンCEO=首相官邸

に投資を集中する「オールイン」を宣言したが、グーグルの「ジェミニ」の性能は大きく改善している。巨額投資を続けてきた成果だろう。

B 「国産AI」が幻想だとは言いませんが、ビッグテックと互角に戦えるようになるとは想像しにくい。勝負できる分野を見極めることは、官民双方に求められることです。

A マイクロソフト陣営のオープンAIとグーグルが雌雄を決する年になるかもしれない。両陣営はデータセンター、電力で

もしのぎを削っている。ハイテク覇権の行方は株価にも大きく響くよ。

―最後に、今年最も心がけるべきことをうかがいます。

B いままで日本が経済大国だと思わないこと。米中との格差を自覚し、欧州やアジアの国と多角的な協力関係を築いてほしいですね。

A 日本企業の強みを生かす政策を考えてもらいたい。戦略17分野はさらに重点化できるはず。手あかの付いたアベノミクスにこだわるより、今最前線で汗をかいている人たちの意見を重んじるべきだ。

C 思い通りのような政策を試している時間はない。4月にはトランプ氏が中国を訪問する。米中がどう動いても動揺せず、しっかり受け止めて日本経済を成長に導かねばならない。(個別のインタビューを編集チームで座談会形式に構成しました)

K

本郷和人

歴史の舞台をゆく



ほんごう・かずと 1960年東京都生まれ。東京大学史料編纂所教授。東京大学・同大学院で石井進氏・五味文彦氏に師事し日本中世史を学ぶ。2012年のNHK大河ドラマ「平清盛」のほか、アニメ、漫画の時代考証にも携わっている。

第65回 名水地の秦野と沼田との縁

何回か前に群馬県の沼田市を取り上げましたので（第59回）、今回は神奈川県秦野市について書くことにします。二つの市はあまり関係がなさそうですが、歴史を見ると、多少のご縁があります。

さて秦野市は神奈川県西部に位置する市で、人口は15万9811人（推計人口、2025年12月1日）。市域は北と西を丹沢山地に、南を渋沢丘陵に囲まれていて、神奈川県唯一の盆地である秦野盆地の全域と、東部の大根・鶴巻地区、およびそれらを囲む山地からなっています。秦野盆地は丹沢山地から流れる水を地下に蓄える天然の水がめ（地下水盆）の機能を有しています。盆地内の河川下流域ではいたる所で豊かな地下水が湧出し、古くから名水地として親しまれています。秦野盆地湧水群として名水百選の一つに選ばれています。

秦野というと、読み方が問題に

なります。「はたの」か「はだの」か、ですね。現在の市名は「はだの」と濁るのですが、資料的にはどうか。調べてみると、平安時代中期の『和名類聚抄』（日本最古の分類体漢和辞書）に「幡多郷」が出てくるのが初出のようですが、読みまでは分らない。源平の頃から同地に居住した波多野氏が頻出しますが、これも振り仮名はありません。

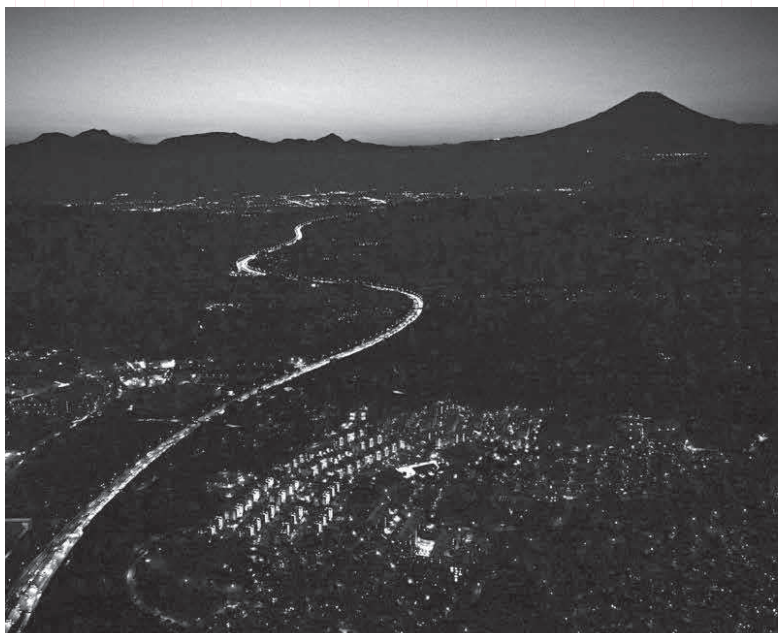
明証があるのは、ようやく江戸時代。享和3（1803）年の文書に「ハダノ」と読み仮名が振られています（『香雲寺文書』）。また天保12（1841）年成立の地理書「新編相模国風土記稿」には、「波多野庄」に「葉駄廻」と読み方が記載されています。「だ」なのですね。こうした状況を踏まえてか、明治22（1889）年の町村合併で発足した「秦野」を冠する6町村のうち、上秦野村が「はたの」とした以外、1町4村は読みを「はだの」としました。現在は前述したとおり、公的には「はだの」です。



藤原秀郷の子孫である、としているものがあります。ただし「佐伯」は名字ではなく、藤原や平と同じく「氏」ですので、経範が秀郷の子孫というのは辻褄があわない。どう整合的に理解すべきか、今のところよく分かりません。

源頼朝の父の義朝は、源氏の勢力圏を確立するため、自ら南関東へとやって来ます。このとき、義朝を歓迎したのが、相模の武士たちでした。具体的にいうと、鎌倉の山内首藤氏、三浦半島の三浦氏、それに波多野氏などです。義朝の長男・義平は三浦氏のもとで育てられました。次男・朝長は波多野義通の妹を母にもち、波多野氏に育てられました。彼は平治の乱で重傷を負い、父とともに東国に逃げようとする途中、美濃国で亡くなりました。

義通の弟が大夫経家。彼の娘の1人は、京から下ってきた下級官



神奈川県秦野市。右奥は富士山＝2020年1月3日

人である中原親能（後に鎌倉幕府の文官となって活躍した人）の妻となり、また1人は近藤（古庄とも）能成に嫁いで、能直の母となりました。この女性も利根局。

おそらくは流人として伊豆で生活していた源頼朝のもとに奉仕し、頼朝が鎌倉の主となった後に、沼田近くの利根荘を与えられています。彼女の夫の近藤能成はわりと

早くに亡くなっているようですが、源平合戦時には健在です。ですから、彼女と頼朝が男女の関係にあつたとは考えにくいのですが、絶対ないかというところ否定はできません。

彼女の子の能直は頼朝の「大のお気に入り」だったと『吾妻鏡』にあるのですが、ご落胤（おちいん）にあるのですが、ご落胤（系図『尊卑分脈』にはそう記載される）ということはまずないでしょう。能直は大友を名乗り、彼の子孫は豊後国で栄えました。ただし波多野本家はというと、再起した頼朝に敵対してしまったので、幕府の有力御家人には加われませんでした。その子孫はむしろ京都で、裁判関係に詳しい武士として活動しています。禅僧の道元の庇護者となつて、永平寺の建立に協力したのは波多野氏です。また、室町幕府でも、高い格式の一族として優遇されています。

口福の源



農学博士
野々村真希
ののむら・まき
京都市出身。京都大学農学
部卒。2019年から東京農業
大学勤務。研究内容は食品
ロス、食生活など。



横浜市のロッカー。残念ながらこの日はパンはありませんでした...



購入手順は極めてシンプル

（ことを思い出し
たけれど、パン
屋に入ってパン
を選んでトング
でトレイにとっ
て袋詰めして

ロッカーで売り切る 取り組み

野菜の無人販売などで見かけるロッカー型自動販売機が、近年、売れ残りの食品ロスの削減に活用され始めている。

食品小売店では、来客数の予想が難しいとか、販売機をロスを防ぐために閉店間際にも商品棚に品ぞろえを確保しておきたいといった理由から、閉店時に一定量の商品の売れ残りが発生する場合が多い。

これまでは、閉店時間内の値引きでできるだけ売り切るといったことが行われてきたが、2024年ころから、閉店後に店外の近隣のロッカー型自動販売機に売れ残りを入れて売り切るといったスタイルがパンを中心にばつりばつりと見られる

ようになってきたのだ。

東京都杉並区にあるパン屋「藤の木」のように、個人店が個別の取り組みとして実施する場合もあれば、横浜市のように自治体のプロジェクトとして実施される場合もあるし、CIP Po株式会社（Wakeate）のように、民間企業主導で行われる場合もある。

パン屋「藤の木」のケースはこの店がロッカーを専有しているが、横浜市の事例はプロジェクトに参加する複数のパン屋がロッカーをシェアする形だ。2025年6月時点では、市営地下鉄内駅構内、横浜銀行アイスマリーナなど横浜市内8カ所にロッカーが設置されていて、パン屋は営業時間終了後に、近くのロッカーに商品を入れ、

販売する。

商品の管理はパン屋、ロッカーのメンテナンスはロッカー設置者の株式会社アルファロッカーシステム、設置場所の管理はロッカー設置場所の提供者が行う。市は、パン屋、ロッカー設置者、設置場所提供者をマッチングする役割を担う。運営に必要なコストは売り上げから賄われている。

売れ残りのロッカー販売は、通常価格より少し安くパンが買えるところがまずうれしい。横浜市の事例では、駅構内で、そして自動販売機とほとんど同じ仕組みで買えるというのも、個人的には期待の高まるポイントである。

仕事から急いで帰る途中、明日の朝食用のパンが家にない

（「藤の木」の事例 横浜市の事例の課題点については、塚原大樹2025年度卒業論文「パンのロッカー販売から分析するロッカー販売の食品ロス削減の可能性について」に基づく）

「希望のないロヒンギャ難民の窮状は、時限爆弾のようなものだ。パングラデシュ暫定政権のユヌス主席顧問は、国際社会に支援を呼び掛けている。はにかんだような2人の微笑みは、しばらく私の脳裏から消えないだろう。」



舟越美夏 × リアルワールド

ふなこしみか 1989年上智大学ロシア語学専攻。元共同通信社記者。アジアや旧ソ連、アフリカ、中東などを舞台に、紛争の犠牲者のほか、加害者や傍観者にも焦点を当てた記事を書いている。



キャンプ内の太陽光発電による給水システムは、日本も支援している=2025年10月、筆者撮影

「明けない夜はない」
「と言えなかった」

「明けない夜はない」。八方ふさがりの気持ちになっていた20代のある日、70代の先輩記者にそう励まされた。半信半疑だったが、年を重ねるにつれてその言葉を実感できる。折に触れ私も口にするようになった。だが、この言葉を言えない事件が最近あった。

2025年11月初旬。「10代の弟と妹がキャンプを抜け出し、音信不通になった」と27歳の友人Jが連絡してきた。

Jは、ミャンマーのイスラム系少数民族、ロヒンギャだ。1980年代に軍事政権に国籍を奪われ、迫害を受けている人々である。2017年8月、ミャンマー軍がロヒンギャに対し大規模軍事行動を起こした。1万人以上が殺害された「ロヒンギャ危機」と呼ばれるこの事件を、米国は「ジェノサイド（集団殺害）」と認定している。惨しい人々が国境を越えてバングラデシュの Cox's Bazar に避難し、100万人以上を収容する世界最大級の難民キャンプが生まれた。一家で避難したJは、この難民キャンプで暮らして8年になる。彼らの避難生活に今、大きな危機が迫っている。国際援助の削減が、キャンプの食糧や医療などに大きく影響し、同時に犯罪組織が活発になって強盗や誘拐が多発しているのだ。

キャンプでは高等教育や就業の機会はない。「将来が見えない」「ここに閉じ込められたままなのか」と、若者たちは絶望感や疎外感、苛立ちを募らせる。そんな彼らに、人身売買組織が近づき、マレーシアなどへの密航を誘うのだ。多額のお金を要求される上、リスクが大きい。当局に捕まったり、殺人やレイプ、知らない男に売られたりすることもある。海路では5人に1人が死にするという。2人は危険を承知だった。可能性に賭けたい、と言う2人の気持ちをJは痛いほど分かっていた。1人35万タカ（約44万円）の料金は「働いて取り戻せる」とブローカーは言った。

11月半ば、2人がブローカーの携帯電話で連絡してきた。タイ中部のジャングルにいますという。数百人とともに人身売買組織の収容所で寝泊まりしており、数日中に車でマレーシア国境に向かうという。Jの眠れない日は続き、キャンプで2人に会っていた私も毎朝、無事を祈らず

にはいらなかった。

結末は残酷だった。12月6日、ブローカーが、2人が交通事故で死亡したと知らせた。タイ中部の町で、定員以上を乗せて走っていたバンが川に落ちたのだ。「2人はたくさんの夢と希望を持っていったんです。僕の一部も死んだ、と涙を流すJに「明けない夜はない」は安易に思え、私は口にできなかった。

国際社会の関心は薄く、ミャンマー軍事政権は彼らの故郷に空爆を続けている。危険な賭けなどせず、キャンプにとどまっていたれば良かったか？ 未来を切り開くための勉強や挑戦ができる日、平和な日常が取り戻せる日は来るのか？

「希望のないロヒンギャ難民の窮状は、時限爆弾のようなものだ。パングラデシュ暫定政権のユヌス主席顧問は、国際社会に支援を呼び掛けている。はにかんだような2人の微笑みは、しばらく私の脳裏から消えないだろう。」

グリーン＆ブルー

「お菜」を漬けて冬に備える



赤堀 楠雄

あかほり・くすお 林材ライター。1963年生まれ、長野県在住。林材新聞社(東京)勤務を経て99年に独立。森林・林業・木材・木造住宅などに関する取材、執筆を行う。著書に「林ヲ営ム〜木の価値を高める技術と経営〜」(農文協)など。

「もうお菜、漬けたかい？」
12月に入り、霜が降りるくらいに冷え込んでくると、隣人たちとこんなあいつを交わすようになる。
「お菜」とは信州特産の野沢菜である。お菜を漬ける、すなわち野沢菜漬けの仕込みは、いくつかなる冬支度の一つであり、それが終われば一息つける。そこで時候のあいつとして尋ね合うわけだ。

野沢菜を自分で漬けるようになったのは、もちろん当地に引越してきてからである。秋口に種を蒔き、適度に間引いて育てた菜は背丈が60〜90センチほどにもなる。何度が霜に当たって柔らかくなり、甘みも増したところで収穫して漬け込む。



漬物専用の容器に30キロを漬け込む。暖房のない土間の隅に置いておき、春先まで食べ続ける

自家の漬け方は、引越してきた当初から農家のすべてで面倒を見てくれた隣家の長老直伝で、塩・醤油・酢・日本酒に市販の野沢菜漬けの素も加えて漬ける。菜を洗うのには近くで汲んできた温泉が使え、手が切れるような思いをしなくて済む。
調味料の分量は、30キロの菜を漬ける場合に「これくらい」だと長老から教わった。なので、自家では毎年30キロ漬ける。家族だけ

ではとても食べきれない量ではないが、親戚や友人にも配って喜んでもらっている。

長老のレシピによる味わいは、菜の甘みを塩と醤油と酢が混然と包み、ほんのり苦みも加わったとも言われぬもので、ご飯のお供はもちろん、お茶づけや酒の肴にもいい。4〜5センチに切りそろえて皿に盛っておくと、つい手が伸びる。信州の人たちが漬物をよく食べるというのは、いつのことかと、自分で漬けてみてよく分かった。

自家の菜は他家より小ぶりになることが多かったのだが、今年は土づくりが良かったのか、寒くな

る前からぐいぐいと葉を伸ばして見事な大きさに育っていた。ところが、ある朝、家の裏にある畑に目をやると、どうも背丈が前日より低くなったように見える。なんと葉先がシカに食われてしまっていた。張り巡らせた柵を飛び越えてきたらしい。無事なものもあるにはあるが、多くが葉先から10センチくらいをかじり取られていた。

野沢菜は葉からも旨味が出る。少なくなった葉を補うために「ウチはもう漬け終わったよ」という隣人から残っていた何株かを分けてもらい、例年通り30キロを漬けたのが12月初めのこと。10日ほど経ち、そろそろいいかと味見してみると、いつもの年にも勝るような上々の出来でホッと胸を撫でおろした。

それにしてもシカの被害をどう防ぶか。まったく頭が痛い。



よんななエコノミー

日本人国内旅行の再考
—旅行市場とライブ市場の明暗—

日中関係の悪化によりインバウンド(訪日客)観光の脆弱性が再びクローズアップされているが、国内の旅行消費の約8割を支える日本人にも「旅行離れ」が起きているといわれる。国内旅行者数(日帰りを含む延べ数)はこの10年で比べると2015年の約6億人から2024年には約5億4千万人と1割減少している。要因としては旅行価格の高騰やオーバーツーリズムによる混雑の敬遠などが挙げられることが多いが、果たしてそうだろうか。

この「〇〇離れ」という言葉は、「クルマ離れ」「アルコール離れ」など、社会環境や人々の価値観の変化などにより価値が低下したものに對して用いられる。「旅行離れ」の根本的な原因も旅行が持つ価値が相対的に下がった結果にはかならない。

では、旅行の価値とは何だろうか。人々の旅行の動機の上位には「おいしいもの」「日常からの解放」「交流」「同行者との親睦」などが挙がっており、まさにこれら

できる。すでに旅行の価値のほとんどは新しい代替品が存在している。

一方、同じレジャー市場でもあるコンサートやイベントなどのライブ市場を見ると、手軽にコンテ

が旅行に行く価値である。しかし現代においては、新鮮でおいしいものはいくらでも取り寄せができ、非日常に没入できるバーチャルコンテンツも多い。SNSを使えば世界中の人とだって交流が

ンツを視聴できるサブスクリプションや動画サイトなどが、代替手段となったはずだが、実際は動員数、売り上げとも大きく伸びており、動員数は2015年の4753万人から2024年には5938万人(25%増)、年間売上高では3186億円から6121億円(92%増)と好調だ(コンサートプロモーターズ協会調べ)。

このライブと旅行の明暗の

違いは非再現性とテーマ性にある。ライブはリアルに演者と同じ時間と空間を共有できるからこそ参加するものであり、その体験は再現不可能な「トキ消費」である。代替は難しい。他方、旅行は見るだけではない体験型観光が人気になっているとはいえず、同様の体験を再現しやすい「コト消費」の域にとどまる。

また、ライブのファンには「推し」という圧倒的なテーマが存在し、そのためなら何度も参加し、関連商品を購入する「推し活」と



© Getty Images

いう言葉もすでに定着した。

しかし、旅行にこだわりのテーマを持つ旅行者はまだ少なく、そのため吸引力が弱い。

2026年の新たな年を迎え、従来路線のインバウンド拡大も重要だが、足元の国内旅行をいまだ一度見直す必要があるのではないかと。トキ消費や旅行での「推し」の提案など、ライブ市場の例から見てもまだまだやれることはたくさんある。

(東洋大学国際観光学部教授 森下 晶美)

～きさらぎ会講演～
元農林水産事務次官・奥原正明氏
**輸出できる競争力ある産業へ
日本農業、プロ農家を軸に**

おくはら・まさあき

1955年生まれ、東京大学法学部卒。79年農林水産省入省、在ドイツ日本国大使館一等書記官、大臣秘書官、大臣官房秘書課長、農林水産省消費・安全局長、経営局長などを歴任。2016年から18年まで事務次官を務め退官。現在は東京大学大学院客員教授。



共同通信社きさらぎ会の11月東京例会で、元農林水産事務次官の奥原正明氏が「農業政策の歴史と今後の方向」と題して講演。日本の農業の課題について「いかに生産性の高い農業を作っていくかが重要」と指摘。そのために「プロ農家を軸とした農業構造をつくる」ことで、「輸出できる競争力のある産業にしていこう」ことが大切だとの見方を示した。(2025年11月10日に行われた講演の要約、編集制作部)

日本の食料は大丈夫なのかという心配が出てきている。農業政策の最終目的は、消費者に食料を安定供給することだ。この点がおろそかになっては大変なことになる。

戦後の食料難を脱した後の日本は、輸入依存の飽食をずっと謳歌してきた。その前提条件は国際秩序が安定し、農産物は国際市場で自由に流通する状況

と、もう一つは日本経済が強く、食料をいくらでも買うことができたということだ。

だが、この二つの前提状況が崩れてきている。

また、地球温暖化が各国の農業生産を不安定にしている。食料を安定供給するのは、それほど簡単ではない時代に入ってきている。

欧米は輸入もしているが、農産物の輸出も相当ある。その結果、例えばドイツの自給率は8割。日本は、輸入は相当しているが、輸出は大したことはない。自給率は4割。こうした違いが、これからどう影響してくるか。自給率が低い原因は、農業政策の歴史と関連している。戦後の農地改革が生産性の低い農業構造をつくってしまった。

また、価格政策、補助金依存の政策が生産性の向上を阻んできた。国内市場しか意識せず、価格維持のための生産調整を続けてきたことも影響している。

しかし、戦後80年を経て日本農業の姿はかなり変わってきている。高齢兼業農家のリタイアで農業経営体の数は減少しているが、法人の数は増加してきて現在3万3千人法人である。

農業経営の改善計画を作り、市町村が認定した農業者が法人、個人合わせて22万経営体。こうしたプロ農家が、農地バンク（農地中間管理機構）法の効果もあって、既に農地の6割を使用するところまで来ている。問題は大規模農家も農地が分散していて生産性向上に限界があることだ。

リタイアする農家の農地をプロ農家に移転して、しかもまとまった面積を耕作できるようにすることが何よりも重要だ。もう一つは輸出の話。1961年の農業基本法にも輸出促進とは書いてあった。

ただ、生産性が低いので、輸出はできないかと思いついてきた。70年ごろには日本も外国も、国内需要は国内で賄えるようにな

り、その時、欧米は輸出へ切り替えた。

ところが、日本は生産調整の方向に行き、欧米と大きな差がつくことになった。

コメについては、戦時中のコメ不足の中、消費者に公平分配するという目的で食糧管理法ができた。

その後、コメは余るようになり、食管法はやめなければいけないところだが、農協は米価引き上げ闘争を続けており、廃止できなかった。

食管法は政府が全量管理する制度だから、余ったコメは政府の倉庫に入る。過剰在庫が大量にたまり、これを処理するために3兆円もかけた。これ以上、税金をつぎ込むわけにはいかないということで、法律外で生産調整を始めた。これがずっと続いてきた。

93年にウルグアイ・ラウンドが決着。開放経済の時代に入った。

同じ年にコメが大不作になって、平成のコメ騒動が起こる。

この二つがあつて農業基本法の見直しが行われた。コメ政策も変えなくてはいけないということで、食管法をやっと廃止した。6年間の検討を経て「弱い農業を守る政策」から「強い農業を作る政策」に転換する新基本法ができるのは99年。

コメについてはウルグアイ・ラウンドの結果を反映させなくてはいけなかったのだ。基本法に先立って95年に新しい食糧法が施行された。備蓄制度を作り、備蓄に必要なものだけを買入れるようになった。

コメの流通も完全に自由化し、プロ農家は農協を通さず、自分で小売りとか外食に売っている。

ただ、新しい基本法の考え方に必ずしも即しておらず、国内の主食用の需給見通しを作り、生産者団体が生産調整目標を決めたら、政府がそれを認可するというスキームが法律に書いて

ある。実際には法律の外で、行政が目標配分することが続いていた。

安倍晋三内閣の2018年に行政配分は廃止された。これは生産調整の廃止に向けた第一歩だ。しかし、その後も農協も政治も、生産調整で価格を維持することを志向してきた。

国も主食用需給見通しを作り続け、3千億円の転作補助金もずっと続いている。これでは生産性の向上も、輸出も進まない。24年のコメ不足の問題も大きな原因はここにある。ぎりぎりの調整をやっていれば、ちょっとしたことで供給不足が起こる。

6月末には在庫が相当減っていて、夏場にはスーパーの店頭でコメが本当に消えた。であれば備蓄米の放出をしなければいけない。

だが、24年は消費者への安定供給より米価維持を優先し、放出しなかった。この結果、価格がどんどん上がった。コストが上がっ

ているので、価格転嫁は必要だが、2倍に上がるといえるのは価格転嫁の域をはるかに超えている。

この状態を招いたのは、行政の判断の誤りであり、きちんと反省することが必要だ。

農業界には、いまでも弱い農業を守るという発想は根深くあるが、弱い農業を守るのか、強い農業を作っていくのか。ここが大きな分かれ目だと思う。

強い農業を作るためには農政改革をスピード感をもってやって、日本農業を輸出できる競争力のある産業にしていこう。

そのためにはプロ農家を軸とした農業構造をつくる。農地をプロ農家のところに集積・集約化する。

また、規制などは極力廃止してプロ農家が能力を十分に発揮できるようにしていく。

そんなメリハリのあることをやっていかないと、農業が発展することにはならないし、食料の安定供給もできない。



年4回出版の季刊誌「コトノネ」。しゃれたデザインで、パッと見は何の雑誌が分からない。障害がある人の顔写真が表紙を

分らない見出しが並ぶ。既刊の号では、例えば障害や難病をテーマにした漫画の特集や、知的障害者を治療する歯科

の事例について全国各地で現場取材。ともに働く支援スタッフの姿や思いも伝えてきた。

「異」を表す。出来事、言葉、人の違いが混じり合い、さまざまな「音色」を生んでいく。そんな思いが込められている。

手の甲につばが

いろいろな会社で働く障害者を連載で取り上げたほか、農業分野で障害者が働く「農福連携」

創刊は2012年。前年の東

飾るが、「障害」を前面には押し出していない。
全ページカラー印刷で、さまざまな人の笑顔の写真が印象的

表れている。「社会実験、やってみた」「あべこべな料理店」「応答せよ、大人たち」など、どんな記事なのか、読んでみないと



これまでに出版した雑誌「コトノネ」と編集長の里見喜久夫さん=2025年10月、東京都目黒区(筆者撮影)

日本大震災がきっかけだった。東京でデザイン会社を経営していた里見喜久夫さん(77)は被災地に多額の寄付をしたが、それだけでは気持ちが落ち着かなかった。かつて「もっとやるべきことがあるのではないか」という思

くらし 2026

働く障害者紹介、笑顔の最終号 雑誌「コトノネ」14年の歴史に幕

障害のある人が生き生きと働く姿を14年間取り上げてきた雑誌が、昨年11月20日出版の最終号で休刊した。こうした刊行物は福祉団体が作っている例がほとんどだが、出版社が独自の視点で発信する珍しい存在だった。ファンからは惜しむ声上がる。

いが募った。

福島県の障害者施設を訪れた際、「障害者が作った商品を応援する雑誌を作ってほしい」との依頼を受け、出版社を設立。編集長を務め、5人前後のスタッフとともに自身でも各地へ取材に行った。ただ「障害福祉については全くの素人。むしろ障害者のことは苦手で、3年程度でやめるつもりだった」。

創刊から2年ほどたった頃。取材中、たまたま障害者のつばが里見さんの手の甲に落ちた。嫌悪感が走った。

でも、拭うのものはかれる。固まった。

そのとき思った。

「好きでもないし、お金になるわけでもない。もうやめよう。でも、やめる



「コトノネ」の最終56号(筆者撮影)

んだったら、その前にもう少し勉強しよう」
図らずもそれが転機になった。

本当は「障害社」

「僕たちが食べているイネは実を地面に落とさない。それでは子孫を残せないの、植物としては『障害』なんです。突然変異で生まれたイネがあったから、僕たちはコメを食べられる」
勉強する中でそんなことを知り、面白くなった。それまでは自分の中に「あいつより俺のほ

うがすごい」と優位に立とうとする気持ちがあったが、「見方が変わって、人を認めるほうが気持ちよくなった」。

コトノネの発行部数は7千、8千部。そんなに多く売れたわけではなく、赤字続きだったが、障害者施設やカフェなどが「軒先書店」と称して販売する例は100カ所近くになった。通常の書店での取り扱いも各地に広がった。

取扱先の一つ、熊本市の長崎書店の店員、児玉真也さんは自身もコトノネのファン。「はつ

らつとした陽気さと、生きることの切実さが誌面から立ち現れてきて、本当に面白い雑誌だった。休刊は残念」と話す。休刊は里見さんの年齢などが理由だが、「やりたいことがほかにあるから」でもある。

2016年に神奈川県相模

原市の「津久井やまゆり園」であった障害者殺傷事件がなぜ起きたのか、歴史や社会背景を突き詰めたい。「リメイク」をキーワードに、物だけではなく暮らし方の全てを組み立て直す活動も構想している。

コトノネ最終56号は福島県や過去の取材先への再訪記などで構成。1100円で、ホームページからも購入できる。表紙の裏にはこれまでと同様、里見さんが書いたこんな文章が載っている。

「この本には『障害者』という言葉があふれています。『障害』があるのは社会だから、本当は『障害社』と書くべきなのですが。(中略) この世には『障害者』も『健常者』もいない。同じ人がいるだけです」

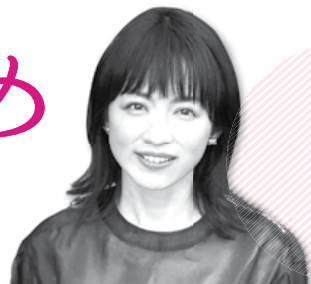
(共同通信)データ調査報道部

市川亨

平井理央の

NEWS / 著休め

ひらい・りお 1982年東京生まれ。2005年、慶應義塾大学法学部卒業後、フジテレビ入社。スポーツニュース番組「すばると!」のキャスターを務め、オリンピックをはじめ国際大会の現地で中継などに携わる。13年フリーに転身。ニュースキャスター、スポーツジャーナリスト、女優、ラジオパーソナリティー、司会者、エッセイスト、フォトグラファーとして活動中。



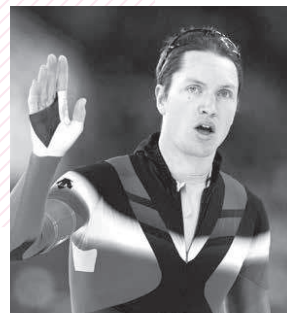
スポーツマンシップの光

2026年2月6日にミラノ・コルティナ冬季五輪が開幕しますね。ということで今回は、スポーツコラム風に綴ってみました。

冬の五輪が近づくと、2010年バンクーバーで吸い込んだ冷たい空気を、いまでも胸の奥で思い出す。あの時、私は取材者として現場に立ち、世界の鼓動の真ん中で、一つ一つの瞬間を必死につかもうとしていた。

記録以上に記憶に残る大会、バンクーバー冬季五輪を総括するなら、私はそう表現したい。浅田真央選手の銀メダル。リンクに残した涙は、強さと葛藤が混ざり合った宝石のようで、美しく切なくて、胸が震えた。そして高橋大輔選手。フィギュアスケート男子日本初となる銅メダルを勝ち取った時、会場の空気が一気に跳ね上がった。歴史が変わる瞬間は、音ではなく「振動」として伝わってくるものなのだと知った。

だが、ふと記憶をたぐるとき、最も鮮明によみがえるのは、スピードスケート男子500メートルで起きた出来



男子500メートルの1回目を終え、観客の声援に応えるカナダのジェレミー・ウォザースプーン=2010年

事だ。整氷車の故障でリンクが使えなくなり、長い中断が続いた。私もオロロしつづ、メモを片手に、何が起きているのか聞きに行っても、結果よくわからず、メディア席はざわついていた。もちろん、観客も不安げで、会場全体が宙ぶらりんな空気になったその時、ひとりのカナダ選手が静かにリンクへ向かった。

ジェレミー・ウォザースプーン。
“史上最高のスプリンター”。ワールドカップ67勝。カナダが誇る英雄だ。しかし当時の彼は、かつての“無敵”とは違っていた。2008年に腕を骨折し、長いリハビリを経て、復帰後も全盛期そのままのキレが戻ったと言いつつ、言い難かった。

それでも母国開催の五輪には、彼に対する期待と誇りがあふれていた。そのウォザースプーンが、音もなくリンクに入り、すっと1周を滑り始め

た。アナウンスも音楽もない。聞こえるのは、氷を切るエッジの細い音だけ。けれどその1周が、会場の不安を驚くほどやわらげていった。観客から自然に拍手が起き、やがて大きな波のように広がっていった。

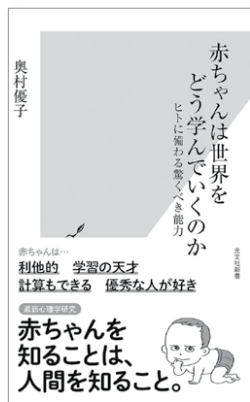
競技再開後、彼は500メートルで入賞には届かなかった。母国でのラスト五輪、かつての世界王者が再び表彰台に返り咲く姿を願った人も多かっただろう。それでも、私の心に深く刻まれたのは、順位ではなく、あの静かな1周だった。

強さは速さだけではない。
競技の向こう側にその人柄を感じるとき、国境を越えて、感動が生まれる。だから私はスポーツを観るのが好きなのだと思ふ。舞台の内側でも外側でも、その人の生きざまがふいに光るその瞬間に、何度もう心をつかまれるのだ。五輪が近づくと、私は思い出す。あのリンクに漂った、澄んだスポーツマンシップの光を。



本の森

赤ちゃんに見る人間の本质



『赤ちゃんは世界をどう学んでいくのか』

奥村優子 著

● 248 ページ
● 1012 円
● 光文社新書

赤ちゃんは無力だ。生まれたてはミルクも上手に飲めず、しばしば吐いてしまうし、ようやく離乳食に移行して口に運んでも、食べずに出してしまう。歩くことはおろか、ハイハイもできない。

子どもが生まれた頃は、「馬は生後1〜2時間で立てるようになるし、生後2〜4週くらいで自分で草を食べられるようになるのに、人間の赤ちゃんはなんて非効率なのだろう…」と私は思っていた。

しかし、本書によれば、一見何も考えていないように見える赤ちゃんは、数を認識し、足し算が

できるし、善悪の区別ができ、利他的な道徳心を持っているという。人間の脳は3歳までに約80%、6歳までに約90%、12歳までにほぼ完成するといわれている。

つまり、赤ちゃんは驚異的なスピードで世界を学んでいくわけだ。赤ちゃんの学習プロセスを明らかにすることで、人間の学習プロセスが分かってくるかもしれない。

本書は、文学博士でNTTコミュニケーション科学基礎研究所の主任研究員として、赤ちゃんの学習や言語発達、教育支援に関する研究に従事する著者が、主に2歳までの赤ちゃんを対象に、

(一部3〜6歳の就学前の子どもに関する研究も含む)実験などにより科学的に明らかにされている研究成果や、そこから得られた知見をまとめたものである。

本書によれば、赤ちゃんは人の顔が好きで、人のまねをするといった、親が日々感じていることが、実験によって明らかになっている。

意外だったのは、絵本の読み聞かせに関する研究の変遷である。著者によれば、20世紀までは、0歳〜3歳未満の赤ちゃんには絵本の読み聞かせは必要がない、と考えられていたそう。

絵本の理解が可能なのは言語

が発達してくる3歳以上からで、赤ちゃんが絵本を認知するのは困難である(だから読み聞かせに意味はない)という見解が主流だった。

しかし、最近の研究では、幼い時期からの本の読み聞かせが、その後の言語能力や認知能力の発達につながりやすいことが明らかになってきた。

このほか、2歳以下の赤ちゃんは、自分がお菓子をもらうよりも、自分のお菓子を他者に分け与えることに喜びを感じる利他性を持っていること、たくさん働いた人が多く報酬を受け取るべきだと感じる公平性を好む性質を持っていること、カジュアルな服装の大人よりフォーマルな服装の人物を知識があるとみなし、新しいことを学ぼうとすることなどが確認できたという。

赤ちゃんの実験結果からは、人間の本质が垣間見える。(明治学院大学経済学部 准教授 加藤木綿美)

14 DAYS SCHEDULE (12.29 → 2026.1.11)

今週・来週の動き

国内

- 12/29(月)・秋篠宮家の次女佳子さま31歳の誕生日
- 12/30(火)・大納会(東京証券取引所ほか)
- 12/31(木)・与野党6党が合意したガソリン税に上乗せされる暫定税率廃止の期限
- ・NHK紅白歌合戦
- ・宝くじ「年末ジャンボ」「年末ジャンボミニ」抽せん日
- ・人気女性グループ「Perfume(パフューム)」がこの日をもって活動を休止

2026年

- 1/1(木)・新年祝賀の儀(東京都・皇居)
- ・一方的な減額要求など「下請けいじめ」を防ぐ改正下請法が施行
- ・石川県で震度7を観測した能登半島地震から2年、追悼式
- ・プロ野球楽天の本拠地の名称が「楽天モバイル 最強パーク宮城」に変更

1/2(金)

- ・新年一般参賀(東京都・皇居)
- ・陸上 東京箱根間往復大学駅伝(往路)
- ・初売り ※そごう・西武と三越伊勢丹全店で。高島屋と大丸松坂屋、松屋銀座(東京)は3日
- ・仙台初売り(仙台市・市内中心街)
- ・能登のアマメハギ ※ユネスコ無形文化遺産(「来訪神 仮面・仮装の神々」の一つ、石川県輪島市)

1/3(土)

- ・陸上 東京箱根間往復大学駅伝(復路)
- ・かるた始め式(京都市・八坂神社)
- ・NHK大河ドラマ「豊臣兄弟」放送開始
- ・蹴鞠はじめ(京都市・下鴨神社)
- ・rockin'on sonic 2026(千葉市・幕張メッセ国際展示場)

1/5(月)

- ・大発会(東京証券取引所ほか)
- ・2025年12月の国内新車販売台数(日本自動車販売協会連合会)
- ・豊洲市場の初競り(東京都江東区)
- ・2025年12月の消費動向調査(内閣府)
- ・2025年11月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省)

1/8(木)

- ・2025年12月の車名別新車販売台数(日本自動車販売協会連合会など)
- ・向こう3か月のコメ価格見通し(米穀安定供給確保支援機構)

- ・福井県の杉本達治知事がセクハラ問題で辞職したことに伴う県知事選告示
- 1/9(金)・2025年11月の景気動向指数(内閣府)
- ・2025年11月の家計調査(総務省)
- 1/10(土)・2025年報道写真展(～4月19日、横浜市・日本新聞博物館)
- ・開門神事「福男選び」※参拝者が早朝の開門と同時に本殿への参拝一番乗りを目指し境内を駆け抜ける恒例の伝統神事(兵庫県西宮市・西宮神社)
- 1/11(日)・大相撲 初場所(～25日、東京都墨田区・両国国技館)

国際

- 12/30(火)・FOMC議事録(ワシントン)
- 12/31(木)・国連イラク支援団の活動が終了
- ・12月の中国製造業購買担当者指数(北京)

2026年

- 1/1(木)・中国がインターネットの検閲や管理の強化を目的とする改正「インターネット安全法」を施行
- ・米ニューヨーク市長に民主党ゾーラン・マムダニ氏が就任

1/3(土)

- ・自動車 ダカール・ラリー(～17日、サウジアラビア) ※トヨタ自動車子会社のトヨタ車体(愛知県刈谷市)が参戦
- 1/6(火)・米連邦議会議事堂襲撃事件から5年(ワシントン)
- ・世界最大級の家電IT見本市「CES」(～9日、米国・ラスベガス)

1/7(水)

- ・米ロサンゼルス一帯の山火事発生から1年
- ・2025年12月のユーロ圏消費者物価指数速報値(ルクセンブルク)

1/9(金)

- ・2025年12月の米雇用統計(ワシントン)
- 1/11(日)・ゴールデン・グローブ賞発表・授賞式 ※アニメ映画「劇場版『鬼滅の刃』無限城編第一章 猗窩座(あかぎ)再来」がアニメ映画賞の候補(米国・ビバリーヒルズ)



柴田克彦

しばた・かつひこ 音楽ライター、評論家。雑誌、コンサート・プログラム、CDブックレットなどへの寄稿のほか、講演や講座も受け持つ。著書に「山本直純と小澤征爾」(朝日新書)、「1曲1分でわかる!吹奏楽編曲されているクラシック名曲集」(音楽之友社)。

「満を持して」聖典に挑む

ドイツ・バロック音楽の巨匠J・S・バッハが残した「無伴奏バイオリンのためのソナタとパルティータ」全6曲は、同楽器にとつての「聖典=バイブル」となっている。ここでバッハは、1本のバイオリンを多声的に扱い、旋律と和声の同時表現を実現。多様かつ深遠な音楽世界を生み出した。曲集は各3曲のソナタとパルティータが交互に配置されており、ソナタは緩-急-緩-急の4楽章から成る「教会ソナタ」、パルティータは舞曲が連なる「組曲」の形がとられている。

今回ご紹介するのは、この内のソナタ3曲を、日本の精鋭・周防亮介が弾いたアルバム。1995年生まれの周防は、数々のコンクールで受賞後、着実に実績を積んでいる名手で、無伴奏の難曲のCDもリリースしている。本盤は、そんな彼が「満を持して」聖典に挑んだ新録音である。

周防は精度の高い技巧と艶やかな美音で繊細極まりない音楽を奏でる。しかもそこには朗々たる歌心やドラマティックな表現力が内包されている。本盤では、そうした彼の特長一特に後者の面一が如実に示されている。

この曲集は、巨匠によるシリアスな名演や

俊才によるシャープな快演など、数多くの録音が出されている。だが周防の演奏は、そうしたどこかストイックな音楽ではなく、豊麗・豊潤で歌心に溢れている。それが今回取り上げる最大の要因だ。

彼は、すべての音を丁寧に奏で、遅い楽章をじっくりと、速い楽章を鮮やかに聴かせる。つまり音のつながりとフレーズの流れや抑揚

がよどみなく表現されている。

特に有名なのが第2番の第3楽章アンダンテ。これはアンコルなどで弾かれる機会が多いのだが、どうしても各音が途切れがちの演奏になってしまう。その点本盤は、それぞれの音が一つのフレーズとしてつながり、息の長い旋律線として描かれている。

一方で、各曲の第4楽章をはじめとする快速部分で

は、無類の躍動感が生み出されている。

「聖典」を技巧の集成ではなく、音楽ドラマとして表現した本録音は、同曲の記録としては貴重であると同時に、新たな可能性を示すものでもある。周防はその後、パルティータ3曲のCDもリリースしている。こうした「新時代のバッハ」ともいえる演奏を併せて堪能されたい。

IK

